

## 1 ジャッジの定義

### 1-1 ジャッジの種類

ジャッジはナショナルジャッジとトレーニングジャッジに分類される

日本インラインスケート協会（以下 JIA）が開催する規定の講習会を修了した者をトレーニングジャッジとし、4の条件を満たすことでナショナルジャッジとして登録することができる

### 1-2 ジャッジの基本姿勢

ジャッジは公正、中立、誠実に審査を行わなければならない

競技規則を正しく理解、遵守し、公正な競技運営に努める責任を負う

## 2 ジャッジの資格取得条件

以下のすべての項目に該当する者は講習会に参加、資格取得ができる

- ・ JIAの協会員であること
- ・ ジャッジ講習会受講時に、その年の誕生日を迎えた時点で満20歳以上であること
- ・ フリースタイルスケートの基礎的な知識を有していること
- ・ フリースタイルスケートの大会に選手として以降参加しないこと

## 3 ジャッジの職務およびその範囲

### 3-1 ジャッジの職務内容

国内で開催されるJIA公認のフリースタイルスケートの大会にてジャッジを行う

ジャッジを行う種目は、JIAが定めた以下の5種目となる

ただしJIAが定めることにより種目は増減する

- ・ フリースタイルスラローム クラシック
- ・ フリースタイルスラローム ペア
- ・ スピードスラローム
- ・ フリースタイルスラローム バトル
- ・ フリージャンプ

その他、大会の運営や計画など、競技を熟知しているスペシャリストとして大会を円滑に進めるための業務全般を行う

### 3-2 各ジャッジの職務範囲

ナショナルジャッジは国内における大会で全ての審査を行える

トレーニングジャッジの審査行為は原則として大会結果に反映されない

ただし、該当大会のヘッドジャッジが大会前に認めた場合に限り、トレーニングジャッジの審査行為を大会結果に反映することができる

## 4 トレーニングジャッジがナショナルジャッジになるための条件

原則、大会結果に反映される以下の審査行為を規定回数以上経験し、本人が希望し且つJIAが十分な資質を持つと判断した場合、ナショナルジャッジになることができる

尚、審査行為の回数は参加した大会数とする

- ・ クラシック、ペアのスコアリング 各3回
- ・ クラシック、ペアのペナルティ 計3回
- ・ スピードスラロームの各ポジション 2回
- ・ その他、必要と判断される審査行為

## 5 資格の失効

以下のとき、JIAの許可のもと、ジャッジ資格を失効する

- ・ 本人から申し出があったとき
- ・ 選手として復帰し、大会に参加するとき
- ・ 正当な理由なくジャッジとして一定期間の活動が認められないとき
- ・ 許可なくJIA管轄外の審査行為が明らかになったとき
- ・ 当ジャッジ規定に反する行為の実施が認められたとき
- ・ その他、当協会のジャッジとして相応しくないとみなされる行為があったとき